

令和 7 年 7 月 22 日

報道機関 各位

将来の教員を志す鳥取県の高校生 132 名が、島根大学教育学部へ体験入学【8/4】

◆本件のポイント！

- ・鳥取県教育委員会と島根大学教育学部が中心となって進めている「『未来の教師』育成プロジェクト」の一環として実施する企画。
- ・地元の山陰で教員になることを志望する高校生が、島根大学教育学部で講義などを体験。
- ・鳥取県下 8 校(鳥取東、鳥取西、八頭、倉吉東、倉吉西、米子東、米子西、境)から、132 名もの高校生が参加予定。
- ・学びのテーマは「大学教育機会の公平性を考える」。
- ・なお、8 月 8 日には、島根県教育委員会と連携して、島根県の高校生を対象とした体験入学プログラムを実施予定。

◆本件の概要

令和 7 年 8 月 4 日に、鳥取県教育委員会と島根大学教育学部が連携して実施している「『未来の教師』育成プロジェクト」の一環として、将来の教員を志す鳥取県内の高校生が、島根大学教育学部へ体験入学。「大学教育機会の公平性を考える」を学びのテーマに、津多成輔講師の授業を受講するほか、施設案内や質疑応答を通して現役大学生との交流も行う。

◆概要内容

- (1)日時 令和 7 年 8 月 4 日(月) 11 時 30 分から 15 時 30 分まで
- (2)会場 島根大学 大学会館(3 階大集会室)及び松江キャンパス内
(松江市西川津町 1060)
- (3)主催 鳥取県教育委員会・島根大学教育学部・山陰教師教育コンソーシアム

◆本件の連絡先 ※[at]は@に置き換えてください

島根大学教育学部 附属教師教育研究センター

特任教授 吉田博幸

<TEL>0852-32-9866

<MAIL>hyoshida[at]edu.shimane-u.ac.jp

【添付資料： ☒あり(2 枚) ☐なし 】

「『未来の教師』育成プロジェクト」

令和7年度 高校生の島根大学教育学部体験入学プログラムについて

島根大学教育学部高大接続プロジェクト

1 目 的

(高校生)

- 島根大学教育学部の理解促進等による、教育学部進学者等の教職指向性の高い高校生の育成
- 大学の“知”に触れ、大学における学びに対する意識・意欲の向上
- 早期に教員採用試験情報を得ることによる、受験メリットの認識及び教員採用試験受験意欲の向上

(大学生)

- 教職を志望している高校生に対して、学内の案内や紹介をしたり、生徒からの質問に答えたりする中で、これまでの教職に向かう取組を振り返り、新たな気づきや学び、または課題に気づき、自分自身の成長につなげる。

2 日 時 令和7年8月4日(月) 午前11時30分から午後3時30分まで

※準備：9時～11時 後片付け：15時30分～16時30分

・大学教員：10時30分に会場に集合

・学生：9時に会場に集合 ◎解散時刻：16時30分 予定

3 会 場 島根大学 大学会館（3F大集会室）及び松江キャンパス内

4 参加者

◆鳥取県

○高校生：132名 県教委1、2名、引率教員8名

拠点校	募集人数	拠点校	募集人数
鳥取東高等学校	20人	倉吉西高等学校	7人
鳥取西高等学校	20人	米子東高等学校	20人
八頭高等学校	15人	米子西高等学校	20人
倉吉東高等学校	15人	境高等学校	15人

◆島根大学

○大学教員：川路、縄田、松尾、諸岡、津多、村尾、矢倉、吉田

○大学生：「未来の教師」育成プロジェクトサポートスタッフ22名以上

5 日程及びプログラム内容

プログラム内容	時間	概要
施設見学・昼食	11:30	グループごとに活動（アイスブレイク、自己紹介、見学 等）
開会	13:15	大学等挨拶、グループ内自己紹介等
学びの体験 [メインプログラム]	13:20	講師紹介・説明等 グループワーク（事前課題に基づくグループワーク） テーマ「大学教育機会の公平性を考える」 授業者 津多 成輔 先生 ・教育機会を保障する法的根拠を知る。 ・ジェンダー等の進路選択に影響を及ぼす要因について考える。 関連講義 講義「大学教育機会はなぜ大都市に集中しているのか」 ・グループワークの活動を踏まえた講義等

		※大学入試及び教員採用試験における面接試験等の素養（理解力、判断力、表現力、課題分析力、論理的思考力、協調性等）も意識した活動を体験します。 ※参加した高校生が学校間の垣根を越えて交流できるプログラム
休憩 14:20～14:30		
教育学部・入試等に関する質問	14:30	事前に教育学部案内・教育学部入試説明動画を視聴し、質問等を大学生や大学教授等へ行う。
教員採用試験情報	15:15	鳥取県教育委員会からの教員採用試験に関する情報提供
閉会	15:30	事務連絡